

(参考様式4)

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

事業活用活性化計画目標評価報告書

平成30年9月12日

活性化計画名	山形5期地区活性化計画			
計画主体	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
山形県	60003	1	平成25年度～平成29年度	平成25年度～平成26年度
活性化計画の区域				
山形5期地区 1,751.3ha				
1) 酒田市 【備畑地区】				
2) 川西町 【谷地地区】【大塚西部地区】				
3) 庄内町 【肝煎地区】				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化 【基盤整備(地形図作成・農用地等集団化)】	2年	2年	100%	事業着工までの年数

(コメント)

<p>【備畑地区】[30.0ha] 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、目標期間内である平成27年9月18日付けで基盤整備が事業採択され目標が達成された。</p>
<p>【谷地地区】[24.1ha] 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき地形図作成及び農用地等集団化の活用を図り、目標期間内である平成27年9月18日付けで基盤整備が事業採択され目標が達成された。</p>
<p>【大塚西部地区】[142.2ha] 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき地形図作成及び農用地等集団化の活用を図り、目標期間内である平成28年4月15日付けで基盤整備が事業採択され目標が達成された。</p>
<p>【肝煎地区】[8.5ha] 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、目標期間内である平成27年9月18日付けで基盤整備が事業採択され目標が達成された。</p>

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量	事業実施主体
地形図作成	【谷地地区】 地形図作成 A=24.1ha	白川土地改良区
	【大塚西部地区】 地形図作成 A=142.2ha	白川土地改良区
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度
白川土地改良区	【谷地地区】 平成25年度	平成25年度
白川土地改良区	【大塚西部地区】 平成25年度	平成25年度
供用開始日		
		平成26年1月16日
		平成26年5月2日
事業効果		
【谷地地区】 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき地形図作成及び農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされた。条件が悪い基盤の整備を行うため、地形図作成及び農用地集団化として換地設計基準を作成したことにより安定した農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持が図られるようになった。		
【大塚西部地区】 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき地形図作成及び農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされた。条件が悪い基盤の整備を行うため、地形図作成及び農用地集団化として換地設計基準を作成したことにより安定した農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持が図られるようになった。		

事業メニュー名	事業内容及び事業量	事業実施主体
農用地等 集団化	【備畑地区】 経営体育成促進換地等調整 A=30.0ha	備畑地区農地整備協議会
	【谷地地区】 経営体育成促進換地等調整 A=24.1ha	白川土地改良区
	【大塚西部地区】 経営体育成促進換地等調整 A=142.2ha	白川土地改良区
	【肝煎地区】 経営体育成促進換地等調整 A=8.5ha	肝煎地区農地整備事業推進委員会

管 理 主 体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
備畑地区農地整備協議会【備畑地区】	平成25年度	平成25年度	平成 26年 5月 14日
白川土地改良区【谷地地区】	平成26年度	平成26年度	平成 27年 3月 31日
白川土地改良区【大塚西部地区】	平成26年度	平成26年度	平成 27年 3月 31日
肝煎地区農地整備事業推進委員会【肝煎地区】	平成25年度	平成25年度	平成 26年 5月 14日

事業効果
<p>【備畑地区】 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされた。条件が悪い基盤の整備を行うため、農用地集団化として換地設計基準を作成したことにより安定した農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持が図られるようになった。</p>
<p>【谷地地区】 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき地形図作成及び農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされた。条件が悪い基盤の整備を行うため、地形図作成及び農用地集団化として換地設計基準を作成したことにより安定した農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持が図られるようになった。</p>
<p>【大塚西部地区】 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき地形図作成及び農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされた。条件が悪い基盤の整備を行うため、地形図作成及び農用地集団化として換地設計基準を作成したことにより安定した農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持が図られるようになった。</p>
<p>【肝煎地区】 定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地等集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされた。条件が悪い基盤の整備を行うため、農用地集団化として換地設計基準を作成したことにより安定した農業経営の確立や地域農業の推進、集落の活性化等により農業従事者の定住維持が図られるようになった。</p>

3 総合評価

<p>交付対象事業別概要に定められた事業活用活性化計画目標の達成状況については、目標を達成し事業効果が発揮されている。 地区毎の評価は以下のとおり。</p>
<p>【備畑地区】 活性化区域内の人口減少の緩和を図るべく、農業経営の確立や地域農業の推進、定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされており、計画期間完了後の人口の維持、減少幅の縮小を目指し、適正に進められている。</p>
<p>【谷地地区】 活性化区域内の人口減少の緩和を図るべく、農業経営の確立や地域農業の推進、定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき地形図作成及び農用地集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされており、計画期間完了後の人口の維持、減少幅の縮小を目指し、適正に進められている。</p>
<p>【大塚西部地区】 活性化区域内の人口減少の緩和を図るべく、農業経営の確立や地域農業の推進、定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき地形図作成及び農用地集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされており、計画期間完了後の人口の維持、減少幅の縮小を目指し、適正に進められている。</p>
<p>【肝煎地区】 活性化区域内の人口減少の緩和を図るべく、農業経営の確立や地域農業の推進、定住促進に資する基盤整備の着手を目指し、基本となるべき農用地集団化の活用を図り、計画期間内に基盤整備の着工がなされており、計画期間完了後の人口の維持、減少幅の縮小を目指し、適正に進められている。</p>

4 第三者の意見

<p>事業活用活性化計画目標については、各地区とも達成しており、所定の効果が発現していることから、適正かつ妥当なもの認められる。 一方、農村部における人口減少は全国的に歯止めがかからない状況にあるが、本事業は、農業の持続的な発展と農村の振興に不可欠な農地基盤整備の実施に向けた取組みであり、今後、地域の特色に配慮した営農戦略、販売戦略等を併せて実施することにより、定住等の促進に向けた事業効果が発揮されるものと考えられる。</p> <p style="text-align: right;">(山形県土地改良事業団体連合会 参事 北村 一)</p>
--